

ISFJ *Inter-university Seminar for the Future of Japan*

ISFJ2020 政策提言会活動報告書

文責：25 期事業企画部

【日時】

2021 年 1 月 22 日(金)

【会場】

オンライン(zoom)

【参加】

「ISFJ2020 政策フォーラム」 上位優秀論文 5 チーム

【概要】

「ISFJ2020 政策フォーラム」で優秀な成績を修めた上位 5 班の研究班が政府関係者や元官僚並びに実際の現場で働いていらっしゃる企業の方々に対して、自らが考えた政策提言を発信していくことを目的として開催されました。

【企画内容】

政策フォーラムで評価された論文に基づき、5 班の研究班がパワーポイントを用いて、各 10 分間の発表を行いました。その後、有識者の方々からコメントを頂き、時には研究班の方々と有識者の方々による議論もなされました。また、全研究班の発表終了後には座談会という形で交流会もいたしました。

【責任者総評】

本年度は、弊団体に協賛して頂いている松下政経塾様と連携し、例年にはない新たなイベントを開催いたしました。各研究班の発表におきましては、学部生のレベルの中で最上位との評価を頂きました。元官僚や政治家や企業の方など多様なバックグラウンドをお持ちの有識者の方々から、学生だけでは気づかない多角的な視点でご意見をいただくことで各々のテーマについて深く理解する機会になりました。参加された有識者の皆様と研究会の方々が熱い議論をしている場面も見受けられ、非常に充実した学びの場となったように思います。座談会では参加学生と有識者の間で、発表テーマに限らず様々な話題について自由な意見交換がなされました。本政策提言会は急な開催だったため「ISFJ2020 政策フォーラム」で優秀な成績を修めた上位 5 班のみの参加でしたが、次年度では政策フォーラムと政策提言会を一元化し、政策フォーラムに有識者の方にお越しいただき、より多くの学生の政策に対する想いを発信できるようにしたいと考えています。弊団体としては、本イベントは様々な社会問題に対し、学生が考えた政策提言を実際に社会に発信する最初の一步だと考えております。来年度にもこの思いを引継ぎ、より良

い日本の在り方について議論できるシンクタンクを目指していきます。今後もこの経験を活かし、活動が深まることを願っております。

【参加班】

ISFJ2020 政策フォーラム 上位優秀論文 5 チーム

〈最優秀政策提言賞〉

慶應義塾大学 土居研究会 宮治班

『個人請負業主の社会保険制度構築』

〈優秀政策提言賞〉

関西学院大学 西立野研究会 小林班

『住宅用太陽光発電の普及を目指して一地方自治体による補助金制度の有効性一』

〈優秀賞〉

大阪大学 赤井研究会 櫻井班

『貨物輸送におけるモーダルシフトの促進』

慶應義塾大学 山田研究会 小竹森班

『介護職員の早期離職率低下のために～介護職員処遇改善加算に着目して～』

大阪大学 山内研究会 志水班

『テレワーク定着の要因分析～ポストコロナに向けた課題～』

【発表研究班からの声】

・この度、松下政経塾様のご協力により、政府関係者や元官僚の方々の前で、私達が提言した政策をお聞きになって下さり、また、その政策に対するコメントまで頂戴でき、とても光栄だと思います。このような経験を学生の内にできるとは思いもしませんでした。

・特に公務で多岐に活躍されている松下政経塾出身の方々から、よりリアルな意見をいただくことができ、良い刺激となりました。

・大会当日は上位 2 班の発表しか拝聴できなかったのも、非常に有意義な時間でした。コメンテーターの皆様もお忙しい中、事前に資料などを読んで参加して下さったようで、大変ありがたかったです。運営委員の皆様には大変感謝致しております。ありがとうございました。

・時間がうまく配分されておりバランスが良かったです。